



## 千住の文化サロン 「仲町の家」

入場無料

WEB SITE



@NakachoHouse



@nakacho\_no\_ie



### 【オープン】

土日月祝 10:00 - 17:00

※2021/12/11(土) - 26(日) はイベント開催のため変則的な開室予定となります。詳しくは HP や SNS をご確認ください。

※年末年始の閉室：

2021/12/28(火) - 2022/1/7(金)

※夏季休業あり

### 【アクセス】

東京都足立区千住仲町 29-1

北千住駅西口・千住大橋駅より徒歩約 10 分  
仲町氷川神社向かい

### 【お問い合わせ】

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局  
03-6806-1740 (13:00 - 18:00、火・木除く)  
info@aaa-senju.com

※ 個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

※ 開室状況やイベント内容は社会状況等に応じて変更になる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら運営しています。事前に HP や SNS で情報を確認の上、お越しください。

アートアクセスあだち 音まち千住の縁／通称「音まち」  
アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにさまざまなまちなかプログラムを展開しています。

### 【主催】

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

※ 本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。

# 仲町の家

仲町の家

NAKACHO HOUSE

# NAKACHO PRESS

## 12月号

仲町の家日より  
2021.12月発行

今年の秋は、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底しながら、さまざまな方々や団体による、多彩な「仲町の家パイロットプログラム」が開催され、多くのお客様にご参加いただきました。この秋、仲町の家でプログラムを実施したアーティストたちは仲町の家という場所をどう捉えたのでしょうか？仲町の家だよりの人気コラム「アーティストからみた仲町の家」の特別版を今号ではお送りします。

## 特集：アーティストからみた仲町の家

### 1：石川佳奈からみた仲町の家



いつも新しい展示をする時にその場所の意味や歴史を考えるとところから始めますが、今回真っ先に思ったのは、仲町の家に入った時のなぜだか自然と落ち着いてしまう雰囲気を活かしたい、ということでした。

私がお家を初めて訪れたのも散歩中の偶然だったので、その時の温かく受け入れていただいた印象を他の方にも感じていただきたいのだと思います。企画の初期、私は3度目の緊急事態宣言で仕事が休みになり、古代から人々が集団としてどうやって暮らしてきたのか興味を持ち世界史を勉強している時でした。それと同時に仲町を家の歴史を調べる中、足立区立郷土博物館の学芸員の方か

ら仲町の家のお庭は神仏宿る公共空間を表していると教えていただきました。それは日本人が一番失ったとされる「公共」の概念だというお話から、この家全体を使ってコミュニケーションについて考えることができないか、と考えていきました。展示中、大人から子どもまで様々な方がいらっしやいました。仲町の家は、歴史を保存しながらも人や作品と緩やかに関わることができるとても豊かな場所だと感じました。

石川佳奈《メッセンジャー》  
公開制作：2021年10/2(土)-10/4(月) 実施  
展示：10/9(土)-10/11(月) 開催



東京生まれ。2010年女子美術大学工芸学科卒業。集団と個人の関係に興味を持ち、現代におけるコミュニケーションや身体感覚をモチーフに映像インスタレーション作品を作っています。

## 2: 福澤龍一からみた仲町の家



仲町の家を訪れた時すぐのどかで過ごしやすかったのを覚えています。一緒に制作を行ったメンバーの1人がおばあちゃんちに来たみたい、なんて言っていました。今回の作品「鶴跡」の展示場所は茶室だったのですが、この部屋の空間的特性に興味を惹かれました。茶を立てるという目的を持っていた部屋・空間であること。そして引き戸！閉めれば隔絶され、他の部屋にはないシンとした空気感を生むのに一枚引けば日常空間と接続できる感じ。この感覚を作品に入れ込みたくて、

鶴の恩返しになぞらえ戸を引いて覗いてもらう仕掛けをしました。古民家の空間的特徴を生かして作品を作っていくのはとても新鮮で面白かったです。またコンサートの際は人々の交流の場としての仲町を家の顔を見ました。座布団に座り、皆同じ視線の高さで音楽を聴けて素敵な時間だったと思います。仲町を家の魅力をすっかり堪能した僕ですが、これからも開かれた場としてこの家が地域に作用していくのを楽しみにしています。

NAKACHO ART SERIES 2021 #4 福澤龍一 《鶴跡》  
展示：2021年9/4(土)-9/27(月) 土日月祝に開催  
コンサート：9/26(日)開催



東京都出身。日本的な要素を新しい形で再生成し、作品として成立させることを試みている。  
東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科2年次在学中。

## 3: 篠原美奈からみた仲町の家



仲町の家では、《あちらこちら》の制作していたようで、ほとんどの時間は立ち寄られた方おしゃべりをしていただいていたように思います。その間、私たちは楽器で音を出していることが多かったの、隣の公園で遊んでいた親子が、気になって立ち寄ってくれたこともあり。私たち自身も家の一部として、誰かの出合いのきっかけになれたことがとても嬉しかったです。

私は公園や川辺で楽器を練習している人や、鼻歌を歌いながら自転車を颯爽と走らせている人が大好きなのですが、それと同じように、仲町の家で音楽を奏でている人がいることは、とても素敵な

ことだと感じています。《あちらこちら》のメンバーは、ほんの一瞬、お邪魔させていただいたのですが、仲町の家にはいつも心地よいギターの色音が響いていますよね。あれが日常の音と混ざり合って、BGMとなっている感じは堪らなく好きです。今回の公演のタイトル案に「ごめんください」が挙がっていたくらい、その空間に私たちがお邪魔する感覚がありました。一言で言えば、《あちらこちら》は普段の穏やかな仲町を家の日常を引き立て、小さな嵐のような公演だったと思います(笑)。また別の場所にお邪魔しつつ、いつか「ただいま」公演もしてみたいなと思っています。

千住・谷中 音楽プロジェクト〈境界線〉  
「あちらこちら」  
公演：2021年10/24(日)開催



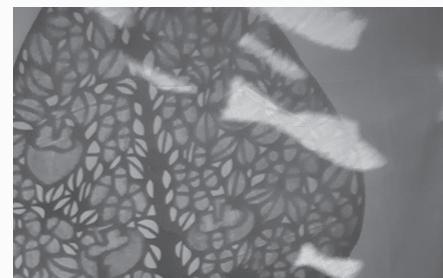
最近趣味でギターを始める。  
夢はパンと音楽の祭典をひらくこと。猫派。東京藝術大学  
院国際芸術創造研究科1年生。

## 今後の「仲町の家パイロットプログラム」

小日山拓也「新春・影絵の夕べ」  
影絵の公演と影絵人形の公開制作。

日時：2022/1/9(日)  
11:00-16:00 公開制作 ※見学自由  
17:30-18:00 第1回公演(17:00開場)  
19:00-19:30 第2回公演(18:30開場)

出演：こひやま(かげえ)、  
おかもとさん(マンドリン)他  
定員：公演各回10名  
※入場無料(事前申込制・先着順)  
※12/4(土)よりQRコードのリンクで受付開始。  
主催・問い合わせ：こひやまたくや  
(kohiyamatakuya1@gmail.com)



## 音まち千住の縁 イベント情報

イミグレーション・ミュージアム・東京  
多国籍美術展  
「わたしたちはみえている  
- 日本に暮らす海外ルーツの人びと -」

東京都足立区を拠点に、地域に居住する海外にルーツをもつ人びとの交流を通して企画されるアートプロジェクト「イミグレーション・ミュージアム・東京」は、多文化社会をテーマにした多国籍美術展を開催します。

会期：2021年12/11(土)-26(日)13:00-19:00  
会場：北千住 BUoY (足立区千住仲町 49-11)、  
仲町の家 (足立区千住仲町 29-1)  
※北千住 BUoY：火曜休み  
仲町の家：火水木曜休み

※入場無料  
問い合わせ：アートアクセスあだち  
音まち千住の縁 事務局 (info@aaa-senju.com)  
詳しくはQRコードより

